



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



2018年9月12日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

鈴木 誠也
(広島東洋カープ)
2 度目

鈴木選手は、8月23日(木)マツダスタジアムで行われた対東京ヤクルト18回戦、9回裏8対8で迎えた場面で左翼席へサヨナラ本塁打を放った。

この試合は東京ヤクルトが序盤に7点をリードする展開。しかし、広島東洋も5回に代打曽根選手のプロ初安打となるタイムリーなどで2点を返すと、続く6回、7回にも点を重ね、試合は5対8と広島東洋が3点ビハインドで最終回へ。一死から野間選手、バティスタ選手が安打で出塁すると、続く丸選手がバックスクリーン左へ起死回生の3点本塁打を放ち、土壇場で同点に追いついた。勢いに乗る広島東洋は続いてこの日2安打を放っている鈴木選手が打席へ。2ボール1ストライクからの4球目を打ち返すと打球は左翼席へ飛び込む劇的なサヨナラ本塁打となり、首位攻防戦を制した。球団史上初のリーグ3連覇を引き寄せる価値ある1勝となった。

鈴木選手のサヨナラ打は昨年6月14日(水)対オリックス2回戦以来。本賞の受賞は2016年6月度に続き2年ぶり2度目となる。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

Y. グラシアル
(福岡ソフトバンクホークス)
初受賞

グラシアル選手は、8月26日(日)福岡ヤフオクドームで行われた対埼玉西武18回戦、8対8で迎えた12回裏、一死満塁の場面で右翼席へサヨナラ本塁打を放った。

福岡ソフトバンクは、1回に柳田選手の先制2点本塁打、2回に今宮選手の満塁本塁打が飛び出し6対0と大きくリード。しかし粘る首位の埼玉西武に7回に同点に追いつかれ、8回には2点の勝ち越しを許すが、すぐさま8回に柳田選手のこの日2本目の2点本塁打で同点に追いつくと試合は延長戦に突入。両チーム無得点が続いた12回、福岡ソフトバンクは一死から、西田選手、牧原選手の安打、今宮選手の四球で満塁の好機を作ると、ここで打席に立ったグラシアル選手が、2ストライクからの3球目を振りぬくと、大きな打球は右翼スタンドへ飛び込み、劇的なサヨナラ満塁本塁打となった。福岡ソフトバンクは9連勝となり、最大11.5ゲームあった首位埼玉西武とのゲーム差を5まで縮める大きな勝利となった。11回から登板した中田投手にとっては通算100勝の記念勝利となった。来日1年目・グラシアル選手のサヨナラ打は初めて。



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B. レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也(広島)	B. レアード(日本ハム)
7月度	筒香 嘉智(DeNA)	B. レアード(日本ハム)
8月度	脇谷 亮太(巨人)	森 友哉(西武)
9月度	ギャレット(巨人)	細谷 圭(ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行(巨人)	福田 秀平(ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸(ヤクルト)	J. アマダー(楽天)
8月度	宮崎 敏郎(DeNA)	栗山 巧(西武)
9、10月度	安部 友裕(広島)	A. デスパイネ(ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂(広島)	森 友哉(西武)
5月度	山下 幸輝(DeNA)	清田 育宏(ロッテ)
6月度	山田 哲人(ヤクルト)	上林 誠知(ソフトバンク)
7月度	下水流 昂(広島)	山下 斐紹(楽天)
8月度		
9、10月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行(巨人)	井口 資仁(ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎(広島)	小久保 裕紀(ソフトバンク)
2011年度	長野 久義(巨人)	松田 宣浩(ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩(中日)	中田 翔(日本ハム)
2013年度	長野 久義(巨人)	浅村 栄斗(西武)
2014年度	福留 孝介(阪神)	松田 宣浩(ソフトバンク)
2015年度	雄平(ヤクルト)	柳田 悠岐(ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也(広島)	吉村 裕基(ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎(DeNA)	栗山 巧(西武)

